

公益財団法人日本バスケットボール協会  
平成26年度 第4回理事会 議事録

日 時：平成26年6月21日(土) 10:00～12:00

場 所：JBAオフィス 8F会議室

出 席：＜理事＞

深津泰彦会長職務代行、丸尾充、梅野哲雄の各副会長、星芳樹専務理事、伊藤信明、熊谷秀樹、坂本昌彦、佐々木三男、品田奥義、庄司義明、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、福井晴次、堀井幹也、吉田長寿、吉田利治の各理事

＜監事＞

高原洋太郎、松岡憲四郎、山崎均の各監事

＜特任委員＞

小倉恭志、片山正明、西井歳晴、林直樹の各特任委員

欠 席：麻生太郎会長、大神訓章、大山妙子、鈴木秀太、水谷豊の各理事、  
内山英司、上島正光の各特任委員

オブザーバー：山見博康裁定委員会委員長、金井克仁弁護士・裁定委員会委員

## 議 題

- (1) 国民体育大会における参加負担金の改定について
- (2) 第5回FIBA ASIAカップ日本代表チームについて
- (3) 男子国際親善試合 選手変更について
- (4) 2015年FIBA ASIA女子選手権大会の国内招致について
- (5) 3x3ワールドツアーファイナル2014の開催について
- (6) 倫理委員会設置の要望書について
- (7) 前橋育英高校に関する事案について
- (8) 広島県協会に関する事案について
- (9) 裁定委員会委員の交代について
- (10) 裁定委員会付託権限の会長一任について

---

## 1. 定足数の報告

堀井理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(23名)の過半数の出席数(出席:17名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

---

## 2. 挨拶

深津会長職務代行より開会の挨拶があった。

---

### 3. 議事

議長は深津会長職務代行が務めた。

(1) **国民体育大会における参加負担金の改定について**（野村理事）

日本体育協会からの「国民体育大会における参加負担金の改定に関する調査」について、昨今の経済環境および国体参加費が平成8年以来改定されていないことを考慮し、日本体育協会提案の中で最も負担増の少ない「少年種別選手2,000円、その他参加者4,000円」で回答することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(2) **第5回FIBA ASIAカップ日本代表チームについて**（堀井理事）

7月11日～19日に開催される第5回FIBA ASIAカップの日本代表チームスタッフおよび選手について、強化合宿および韓国遠征を経て選手選考を行うため、最終メンバーの選考を常務理事会に一任することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(3) **男子国際親善試合 選手変更について**（堀井理事）

前回理事会にて決定した「東日本大震災復興支援 ゼビオチャレンジカップ バasketボール男子日本代表国際親善試合2014」の日本代表選手のうち、安藤誓哉選手（明治大学4年）の退部のため、大垣慎之介選手（拓殖大学 4年）を追加招集することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(4) **2015年FIBA ASIA女子選手権大会の国内招致について**（吉田(長)理事）

オリンピック出場のために、リオデジャネイロオリンピックの予選となる2015年のFIBA ASIA女子選手権大会について、宮城県仙台市を会場とし、FIBA ASIAに対し開催国として立候補すること、また、今年度の招致活動費用として200万円の予算外執行が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(5) **3x3ワールドツアーファイナル2014の開催について**（吉田(長)理事）

FIBA 3x3ワールドツアーファイナルの大会要項および収支予算が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(6) **倫理委員会設置の要望書について**（堀井理事）

WJBL・シャンソン化粧品杉山部長の代理人弁護士から倫理委員会設置の要望書が提出されたことが報告され、これについて現在の規程に基づき設置されている裁定委員会に本件を付託することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(7) **前橋育英高校に関する事案について**（堀井理事）

群馬県・前橋育英高校の元バスケットボール部員の代理人弁護士からの選手やコーチの暴力行為等によ

る大会参加辞退の示唆に関する依頼について、裁定委員会に本件を付託することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(8) 広島県協会に関する事案について（堀井理事）

広島県協会審判委員長がbjリーグの審判依頼についての協力を禁止する旨の通達を行ったことに対してbjリーグから事実調査依頼と広島県協会への裁定依頼の要望があったことについて、裁定委員会に本件を付託することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(9) 裁定委員会委員の交代について（堀井理事）

裁定委員会の委員構成について、第三者から見た場合の公平性、公正性を担保するため、委員のうち、JBAの顧問弁護士でもある金井克仁氏から、松本泰介氏(弁護士)に交代することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(10) 裁定委員会付託権限の会長一任について（堀井理事）

裁定委員会への付託事項については暴力行為等の緊急案件等が多く速やかな対処が必要なことから、付託の決定は会長一任とし、理事会には報告することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

---

#### 4. 報告事項

(1) FIBA/リーグ関連について（深津会長職務代行）

bjリーグとの協議の結果、2016年シーズンからbjリーグ、NBL/NBDLを統一されたプロリーグを創設するための話し合いをスタートさせることに合意したこと、今後、新リーグ設立に向け、JBA、bjリーグ、NBL（およびNBDL）、公平性、公益性、公平性を確保するための有識者を推進メンバーとし、参加各チームの意見を踏まえた上で10月末までに具体的な骨子を作っていくことが報告された。

また、FIBAバウマン事務総長からは本日の会議に参加を予定していたがそれが叶わなくなったことのお詫びと、10月末までにJBAの組織見直し、ガバナンス強化、日本代表の強化プログラム、新プロリーグに関する最終の解決策の提示を期待する旨のコメントがあったことが報告された。

(2) 一般報告（堀井理事）

2014年5月の諸会議等の開催実績が報告された。

(3) 総務部（堀井理事）

6月4日に評議員選定委員会が開催され、横山俊幸氏、中澤亨氏が評議員として選任されたことが報告された。

(4) 3x3推進室（吉田(長)理事）

第2回FIBA 3x3世界選手権大会の結果、日本は1勝4敗で予選リーグ敗退、最終順位は20位となったことが報告された。

(5) **2020年東京オリンピック・パラリンピック関連** (吉田(長)理事)

6月12日に国内競技団体連絡会議が開催されたことおよびその概要等が報告された。

(6) **平成26・27年度役員候補者について** (深津会長職務代行)

役員候補者選定委員会より推薦され、評議員会に付議される平成26・27年度役員候補者(理事候補者26名、監事候補者2名)が報告され、確認・了承された。

以上